

2013 年度（平成 25 年度）事業報告書

公益社団法人ガールスカウト日本連盟

目次

● 2013年（平成25年）度 全体総括	1
● 事業実施報告	
第11回 AP 地域会議（同時開催：FAPW ギャザリング）	5
1. 教育プログラム	6
2. 成人のトレーニング	10
3. 組織と運営	12
4. 社会との関係	14
5. 会員	17
6. 財政	17
7. 目的を達成するために必要なその他の事業	18
● 理事会議題一覧	18
● 2013年度（平成25年度）民間助成金	20
● 2013年度（平成25年度）世界連盟への寄付	20
● 2013年度 日本連盟表彰	21

2013 年（平成 25 年）度 全体総括

2013 年度は「今が勝負のとき—挑戦し続けるガールスカウト」を方針とし、過去 93 年間でそうであったように、これからも「挑戦し続ける」ことを具体的行動に移す活動に取り組みました。ガールスカウト運動に関わる人をさらに増やすことで、よりよい社会の構築に貢献できる人材育成を行うために、すべての事業が会員増に結びつくことを目指して取り組みました。それは、少女と女性が自らの可能性を最大限に発揮できる社会の実現に向け、行動を起こしていくには必要不可欠なことです。

また、2011 年度から進めてきた「ガールスカウトが女子だけで活動する意義」について調査研究の成果を、冊子『女の子はもっと伸びる—未来を担う少女たちに 今必要なチカラと環境』にまとめました。この冊子にまとめた内容の普及と、会員による実践を 2014 年度事業で進めます。

I 会員数の増加

1. **新会員の開拓**（既存の会員制度以外の方法も視野に入れた新会員の開拓）
 - ・ 2 カ団発団、また、東日本大震災により活動を休止していた 1 カ団を含めた 2 カ団が復活し、ガールスカウト活動を届ける地域を増やすことができた。
 - ・ 2012 年度末に都道府県連盟に呼びかけた「テンドーフト部門入会促進キャンペーン ともだち増やそう作戦」により、テンドーフト部門の会員が前年度比 116%となった。目標数 600 人には至らなかったが、少女会員の新入会者数は、前年度比 100 人増となった。
2. **現会員の継続**
 - ・ 2013 年度総会員数 33,593 人は、前年度の総会員数 34,927 人と比較すると 96.1%で、昨年度の前年度比 92.9%と比較すると下げ止まりの傾向がみられる。
 - ・ ジュニアからシニアへの継続率を向上させるための取り組みを都道府県連盟で行い、その状況を共有する場を設けた。
 - ・ シニアからレンジャーへの継続率向上、レンジャーから成人会員への継続率向上を目指し、全国規模のキャンプ、ガールスカウトギャザリング全国大会では対象部門をまたいだ年齢層を参加対象とした。
3. **元会員の復帰**
 - ・ 元会員の復帰に向けての取り組みを始めた。

II ガールスカウトのイメージと知名度の向上

1. 広報戦略の策定実施

- ・2012年に実施された、アジア太平洋（AP）地域委員とスタッフによるパートナーシップビジットの提言を受け、リブランディングへの取り組みを始め、連盟長会議、トレーナーセミナーなどで方向性を共有した。その上で、具体的方向性について2014年5月総会発表に向け準備を進めている。

2. 公的機関、企業・団体、地域との戦略的パートナーシップの強化

- ・国の機関、独立行政法人などの委員などに就任し、意見を述べるなどの活動をおこなっている。
- ・ガールスカウト活動を大学の単位取得に結びつけるなど、新たな連携の方法を模索している。

III 少女と若い女性にかかわる問題への影響力の強化

1. 少女や若い女性、都道府県連盟、日本連盟のアドボカシー能力強化

- ・少女に対する暴力をなくすキャンペーンへの取り組みは3年目を迎え、デートDVに関するオンラインプログラムを開発した。また、デートDV防止のための全国キャンペーンを11月1日～12月10日の期間で実施した。キャンペーン期間は内閣府が提唱する「女性に対する暴力をなくす週間」（11月12日～25日）と、世界が取り組む「女性に対する暴力撤廃の国際デー」（11月25日）を含めて設定し、内閣府の協力を得ることができた。このキャンペーンでは、全国の中学生、高校生、大学生年代の人たちに、同年代間の伝えあいによりデートDVについて伝える活動（マイボイスプログラム）をおこなった。目標数1,000枚を上回る1,769枚に達し、Facebook等を使用し社会へ共有する他、その成果を使い映像を制作した。
- ・グローバルアクションテーマに基づき、世界規模の課題に焦点を当てた活動を促進した。ガールスカウトギャザリングでの話し合いや、レンジャーキャンプでの活動により、少女自身が行動に移す力があるということに気づく体験の場を提供し、アドボカシー能力向上の機会とした。

2. 少女や若い女性、都道府県連盟、日本連盟による少女にとって重要な問題に対するアドボカシーの機会の増加

- ・国際ガールズ・デー（10月11日）を記念し、「女性が輝く社会」を目指し、実現に向けて取り組んでいる安倍晋三首相を訪問。少女たちがこれからどんな世界を創ろうとしているのか、また、その理想の社会の実現に向けての決意を表明した。この様子は、政府インターネットテレビへの掲載のほか、メディアに取り上げられた。

- ・少女に対する暴力をなくすキャンペーンの取り組みについて、日本国内担当大臣である、森まさこ内閣府特命担当大臣（男女共同参画担当）を訪問し、ガールスカウトを代表する中学生、高校生が声を伝えメディアに取り上げられた。
- 3. 戦略的なパートナーシップを強化・発展し、ローカルからグローバルまであらゆるレベルで影響力を行使**
- ・第11回 AP 地域会議開催協力、会議での問題提起、AP 地域委員会委員の輩出、ガールガイドミャンマー連盟への協力連盟として支援などガールガイド・ガールスカウト世界連盟 (WAGGGS)、AP 地域への協力を強め、WAGGGS への影響力を増すことができた。
 - ・日本中の会員からワールドシンキングデイの寄付金（総額 2,100,858 円）が寄せられ、世界のガールスカウトの発展のために協力することができた。

IV ガールスカウトで提供される経験内容の充実

- 1. ガールスカウト内外の資源の有効活用と 6 分野に基づいた運営基盤の強化**
 - ・AP 地域委員会からのパートナーシップビジットを受け、提案されたことを基に、日本連盟の運営について見直しをおこなった。
- 2. ガールスカウト活動を支える成人の能力開発**
 - ・ウェブを利用し、年少部門集会例の公開、および、活動の安全に関するチェックリストをはじめとしたオンラインプログラムの公開をおこない、ガールスカウト活動を支える成人の能力開発の新しい形を開始した。
- 3. 世界的な運動であることを生かしたさまざまな機会の提供**
 - ・少女の海外研修への機会を増やすため、引率者の渡航費補助を行った。2013 年度は例年以上に応募があり、少女の海外研修への機会が増加した。
 - ・ワールドシンキングデイの取り組みとして、日本連盟公式ホームページ上に特設ページを開設し、世界の仲間からの声を届けることができた。

V あらゆる段階・場面でのリーダーシップ能力の向上

- 1. 少女と若い女性が自分自身の能力を開発し、社会に影響を与えられるようになるための、リーダーシップ経験の提供**
 - ・2012 年度に日本で開催した WAGGGS リーダーシップ開発プログラム（以下 WLDP）、リーダーシップセミナーへの参加者が、自身の所属する都道府県連盟で学んだことを伝える活動を実施した。
 - ・夏期に戸隠ガールスカウトセンターでおこなったレンジャー対象のキャンプにヤングリーダーも参加者とし、リーダーシップ経験の場を提供した。

2. 都道府県連盟理事会の組織運営力とリスクへの対応強化支援

- ・都道府県連盟訪問を開始し、6 県連盟への訪問をおこなった。この訪問事業は、5 年計画で、すべての都道府県連盟を訪問する。
- ・連盟長会議及び、連盟長への役職別研修では、シェアードリーダーシップについて伝え、また、ガールスカウトの方向性についての意見交換をおこなった。

3. ノンフォーマル教育・リーダーシップおよび少女と若い女性にかかわる問題における先駆的な実践者としての社会的地位の確立

- ・安倍晋三首相に「少女に、社会へのリーダーシップの発揮を広く呼びかける」こと、「少女たちがこれからどんな世界を創ろうとしているのか」また「その理想の社会の実現に向けての決意」を宣言した。
- ・少女と若い女性を取り巻く問題として「暴力」を取り上げ、森まさこ内閣府特命担当大臣（男女共同参画担当）、内閣府男女共同参画推進連携会議などへ働きかけた。
- ・3 年にわたって調査した「女子だけで活動する意義」の成果について、冊子『女の子はもっと伸びる―未来を担う少女たちに今 必要なチカラと環境』にまとめ発表した。

VI 資金調達の増強

1. 多様な財源の確保

- ・WAGGGS および、ガールスカウト関係の支援団体からの資金を得ることができた。
- ・新しい寄付プログラムとして、「みらい募金」および「遺贈」プログラムの取り組みを開始した。
- ・施設有効利用の検討を開始した。順次可能なところから実行していく。

2. 財政基盤の確立

- ・賛助会員トレフォイルの会員増および、グレードアップを促進する活動に取り組み、目標を上回り、新規会員 10 人、グレードアップ 4 人で 2,450,000 円の寄付を集めることができた。

3. 費用対効果の改善

- ・通信技術の活用、事業運営方法の変更などにより、費用対効果の改善に向けて取り組みを開始した。

次ページより、具体的活動を掲載します。

第 11 回 AP 地域会議（同時開催：FAPW ギャザリング）

事業名	第 11 回 AP 地域会議
期日	6 月 29 日（土）～7 月 6 日（土）
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター ＜ガラディナー＞明治記念館

1. 参加者数

参加者数（22 連盟）	91 人
ゲスト	12 人
WAGGGS（委員、スタッフ）	15 人
合計	118 人

2. 関わった日本連盟会員数

実行委員会	3 人
チームリーダー	9 人
成人ボランティア（Worker Bee）	84 人 のべ414 人
会場おもてなし隊 開会式（旗手、合唱隊、指揮、司会、太鼓）、 日本文化紹介	337 人
ローカルおもてなし隊	85 カ団
空港送迎ボランティア（千葉県連盟）	28 人 のべ40 人
ホームステイ受入れボランティア （埼玉県連盟、千葉県連盟、東京都連盟、神奈川県連盟、 京都府連盟、大阪府連盟）	23 家庭
ローカルおもてなし隊作成のカード・クラフト仕分けボ ランティア（2 日間）	12 人
旗セット貸与ボランティア	28 カ団

3. 日本連盟担当プログラムについて

開会式、ガラディナー、若い女性のためのプログラム「国際セミナー」、
ラーニングエクスカージョン（株式会社コクヨ、株式会社資生堂、経済産業省
商務情報政策局クリエイティブ産業課クール・ジャパン海外戦略室、品川女子
学院）、半日エクスカージョン（東京都水の科学館、ビーナスフォート）、東京
ショッピングツアー（高島屋&東急ハンズツアー、ビックロツアー、原宿 100
円ショッピングツアー）

事業名	アジア太平洋地域友の会（FAPW）第 5 回ギャザリング
期日	6 月 29 日（土）～7 月 3 日（水）
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター ＜記念ディナー＞京王プラザホテル

1. 参加者数

参加者数（12連盟）	88 人
日本人参加者	33 人
合計	121 人

2. 関わった日本連盟会員数

実行委員会	5 人
ボランティア（都内見学ボランティア、演者など）	254 人

3. FAPW-日本担当プログラムについて

ウエルカムディナー、日本文化紹介（着付け、茶道、英語落語、環境ワゴン、華道）、都内見学、記念ディナー

1. 教育プログラム

事業名	ガールスカウトギャザリング全国大会
期日	2014年3月21日（金・祝）～3月23日（日）
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加人数	213人（シニア（中学2年生以上）78人、レンジャー100人、成人会員35人）

事業名	ガールスカウトギャザリング地区大会	
地区名	実績	
北海道・東北地区	期日	8月9日（金）～8月11日（日）
	会場	岩手県青少年会館・いわて情報交流センター「アイーナ」
	人数	62人（シニア29人、レンジャー25人、成人会員8人）
北関東地区	期日	9月14日（土）～9月16日（月・祝）
	会場	国立赤城青少年交流の家
	人数	135人（シニア41人、レンジャー41人、成人会員53人）
南関東地区	期日	12月21日（土）～12月23日（月・祝）
	会場	国立オリンピック記念青少年総合センター
	人数	144人（シニア63人、レンジャー44人、成人会員37人）
北陸・東海地区	期日	8月16日（金）～8月18日（日）
	会場	国立乗鞍青少年交流の家
	人数	85人（シニア40人、レンジャー20人、成人会員25人）
近畿地区	期日	8月24日（土）～8月25日（日）
	会場	プラムイン城陽
	人数	70人（シニア36人、レンジャー14人、成人会員20人）

中国・四国地区	期日	9月21日(土)～9月23日(月・祝)
	会場	国立吉備青少年自然の家
	人数	107人(ジュニア20人(22日のみ)、シニア43人 レンジャー12人、成人会員32人)
九州・沖縄地区	期日	8月16日(金)～8月18日(日)
	会場	諫早市社会福祉会館・長崎県立千々石少年自然の家
	人数	75人(シニア35人、レンジャー21人、成人会員19人)

事業名	レンジャー・ヤングリーダーキャンプ
期日	8月2日(金)～8月5日(月)
会場	戸隠ガールスカウトセンター
参加人数	128人(レンジャー105人(実行委員5人を含む) ヤングリーダー〔概ね30歳〕23人(成人実行委員3人を含む))

事業名	ガールスカウトふれあいの日
期日	5月18日(土)～5月26日(日)
会場	全国各地
参加人数	21,986人(少女会員4,668人、成人会員2,478人 一般少女5,784人、一般成人9,056人)

事業名	都道府県連盟が実施する国際理解研修、海外派遣担当者研修への講師派遣
実績	講師派遣1回：岐阜県連盟(ピースプロジェクト Greener×Greener)

事業名	海外研修県連盟派遣事業補助
実績	10件：埼玉県連盟・千葉県連盟・山梨県連盟・富山県連盟・静岡県連盟・岐阜県連盟・京都府連盟・愛媛県連盟・福岡県連盟・沖縄県連盟(599,000円)

事業名	国際ガールズ・デー
期日	10月11日(金)
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・WAGGGS 国際ガールズデー アンバサダー任命(岩手県連盟：山本千尋氏) ・「Girls in the Lead—少女たちが創る、日本の未来」の始動 ・タンブラーサイト「Girls in the Lead」の開設 ・安倍晋三首相表敬訪問：10月12日(土)

事業名	地区における WLDP 普及活動	
地区名	実績	
北海道・東北地区	期日	8月9日(金)～8月11日(日)
	事業名	北海道・東北地区ガールスカウトギャザリング(プログラムの一部で実施)
	人数	49人
北関東地区	期日	9月14日(土)～9月16日(月・祝)
	事業名	ガールスカウトギャザリング北関東地区大会(プログラムの一部で実施)
	人数	65人
南関東地区	期日	9月7日(土)～9月8日(日)
	事業名	MLDP・南関東リーダーシッププログラム
	人数	20人
北陸・東海地区	期日	10月26日(土)～10月27日(日)
	事業名	北陸・東海地区リーダーシップセミナー(プログラムの一部で実施)
	人数	44人
近畿地区	期日	11月16日(土)～11月17日(日)
	事業名	近畿地区リーダーシップラーニングプログラム
	人数	28人
中国・四国地区	期日	10月19日(土)～10月20日(日)
	事業名	中国・四国地区指導者研修会(プログラムの一部で実施)
	人数	57人
九州・沖縄地区	期日	10月12日(土)～10月13日(日)
	事業名	九州リーダー研修会(プログラムの一部で実施)
	人数	合計 55人

事業名	日本連盟主催 WLDP 普及活動第1回 「国際セミナー」
期日	2013年7月3日(水)
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加人数	参加者 39人 ※AP 地域会議参加者(40歳未満) 22人 内訳: 海外 20人、日本 2人 一般申込者(会員含む) 17人 実行委員 7人

事業名	日本連盟主催 WLDP 普及活動第2回 「未来をひらく! リーダーシップワークショップ」
期日	2014年2月15日(土)

会場	ガールスカウト会館
参加人数	参加申込者 37 人（会員 24 人、一般 13 人） オブザーバー：1 人 実行委員 7 人 ※大雪のため、事業中止

事業名	ワールドシンキングデイ
期日	2014 年 2 月 22 日周辺
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・日本連盟ホームページに特設ページ開設 ・日本連盟 Facebook 内に「ワールドシンキングデイ 2014」イベントページ開設 ・ワールドシンキングデイ 2014 MDG2 活動パック作成

事業名	ピースプロジェクト Greener×Greener
期日	年間
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平和のための寄付金 462,162 円 ・ピースプロジェクト Greener×Greener バッジ 1,074 枚

事業名	戸隠ガールスカウトセンター夏期プログラム
期日	7 月 20 日（土）～8 月 31 日（土）
参加人数	利用グループ：26 グループ 宿泊利用人数：3,220 人 日帰り人数：405 人 ディレクター11 人、スタッフ 37 人

事業名	ガールスカウト Stop the Violence キャンペーン
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインプログラムの開発・公開（2013 年 5 月） ・My Voice プログラム（11 月 1 日（金）～12 月 10 日（火））： My Voice シート 1,769 枚 ・内閣府男女共同参画局「女性に対する暴力をなくす運動」におけるパープルライトアップへの参加：73 人 ・プロモーションビデオ「Be Smile」作成 ・森まさこ内閣府特命大臣表敬訪問：2014 年 1 月 10 日（金）

研修会		
主催	実績	
福岡県連盟	期日	12 月 15 日（日）
	会場	コミセンわじろ
	人数	39 人（シニア・レンジャー11 人、成人 28 人）
山形県連盟	期日	12 月 22 日（日）
	会場	山形市男女共同参画センター
	人数	44 人（シニア・レンジャー11 人、成人 28 人、一般 5 人）

愛知県連盟	期日	2014年1月25日(土)
	会場	愛知県青年会館
	人数	61人(シニア・レンジャー26人、成人64人、一般1人)
兵庫県連盟	期日	2014年2月2日(日)
	会場	こうべまちづくり会館
	人数	86人(シニア・レンジャー38人、成人48人)
茨城県連盟	期日	2014年2月9日(日)
	会場	茨城県立青少年会館(大雪のため中止)
徳島県連盟	期日	2014年2月11日(火・祝)
	会場	言の葉ミュージアム
	人数	20人(シニア・レンジャー3人、成人17人)
神奈川県連盟	期日	2014年2月23日(日)
	会場	横浜市青少年育成センター
	人数	34人(シニア・レンジャー17人、成人17人)

事業名	ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』(№37～№39)の発行
実績	ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』№37 10,100部 ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』№38 10,500部 ガールスカウト活動情報誌『Girl Scouting』№39 10,600部

委員会名	教育活動委員会
実績	年3回開催

委員会名	日本のガールスカウト教育を考える会
実績	年7回開催

2. 成人のトレーニング

事業名	トレーナーセミナー
期日	11月23日(土・祝)～11月24日(日)
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加人数	トレーナー 130人、都道府県連盟役員 1人

事業名	ガールスカウトトレーナー認定講習会・審査会
期日	2014年1月12日(日)～1月13日(月・祝)
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター
参加人数	プログラムトレーナー 15人

事業名	プログラムトレーナー認定審査会
期日	2014年1月11日(土)
会場	ガールスカウト会館
参加人数	トレーナー候補者 19人

事業名	『成人のためのガールスカウトマガジン OLAVE』(№22～№23)の発行
実績	『成人のためのガールスカウトマガジン OLAVE』№22 5,900部 『成人のためのガールスカウトマガジン OLAVE』№23 6,100部

事業名	指導者の派遣
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー養成講習へのトレーナー派遣 4回(島根県連盟2回、石川県連盟、高知県連盟) ・指導者研修へのトレーナー派遣 1回(島根県連盟) ・ミャンマー連盟への指導者の派遣 2回(トレーナー4人・リーダー8人)

事業名	海外研修(本部派遣)	
内容		
事業名		
Stop the Violence キャンペーン レイニング	期日	5月6日(月・振替休日)～5月11日(土)
	会場	ルワンダ キガリ
	人数	成人会員 2人
第11回 AP 地域 会議	期日	6月29日(土)～7月6日(土)
	会場	国立オリンピック記念青少年総合センター
	人数	成人会員7人(正代表2人・オブザーバー5人)
ヘレン・ストロ ーセミナー	期日	2014年3月22日(土)～3月30日(土)
	会場	アワシャレー
	人数	成人会員1人

事業名	リーダー養成講習・指導者研修
期日	年間
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー養成講習 325回(45都道府県連盟で開催) ・指導者研修 257回(30都道府県連盟で開催)

事業名	トレーナーへの支援
実績	・日本連盟公式ホームページ「トレーナーページ」の充実

委員会名	指導者委員会
実績	年3回開催

3.組織と運営

会議名	連盟長会議・(役職別研修)連盟長研修
期日	11月16日(土)～11月17日(日)
会場	国立オリンピック記念青少年総合センター
内容	<p>テーマ：私たちは進化する。社会に求められ続けるガールスカウトであるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 ・シェアードリーダーシップについて ・「女子だけで活動をおこなう意味」について ・平成25年度上半期事業報告 ・継続率を向上させるために ・日本連盟の方向性の共有 ・平成26年度事業計画(案) ・ともだち増やそう作戦について
人数	都道府県連盟代表者47人、オブザーバー21人、常置委員長6人、理事10人

事業名	組織拡充のための理事等派遣
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・県連盟等への派遣8回：長野県連盟・群馬県連盟・神奈川県連盟・京都府連盟・千葉県連盟・埼玉県連盟・愛知県連盟・この指とまれ

事業名	都道府県連盟訪問事業		
実績	事前研修	期日	9月16日(月・祝)
		会場	ガールスカウト会館
		講師	呉哲煥氏(NPO法人CRファクトリー代表理事)
	岐阜県連盟	期日	10月5日(土)～10月6日(日)
	埼玉県連盟	期日	10月13日(日)～10月14日(月)
	秋田県連盟	期日	10月25日(金)～10月26日(土)
	愛媛県連盟	期日	11月9日(土)～11月10日(日)
	千葉県連盟	期日	2014年1月24日(金)～1月25日(土)
香川県連盟	期日	2014年1月25日(土)～1月26日(日)	

会議名	理事連絡会
期日	年8回開催
会場	ガールスカウト会館

会議名	理事研修
期日	9月14日（土）～9月15日（日）
会場	ガールスカウト会館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講師：和田照子氏（世界連盟理事） 「2020年への道～第35回世界会議に向けて～」 ・今後の日本連盟方針についての検討

会議名	評議員会
期日	12月7日（土）
会場	ガールスカウト会館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「女子だけで活動をおこなう意味」 ・日本連盟事業報告 ・日本連盟の現状分析、今後の広報方針 ・2014年度事業計画案
人数	評議員8人、理事10人

会議名	顧問会
期日	10月19日（土）
会場	ガールスカウト会館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ガールスカウト会館、戸隠ガールスカウトセンター等の施設の維持について ・ガールスカウト日本連盟のあり方について
人数	顧問4人、理事9人

会議名	フレンズ オブ ザ ボード
期日	7月4日（木）
会場	明治記念館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度事業報告 ・平成25年度事業計画 ・日本連盟の方針について ・女子だけで活動を行う意味について
人数	元理事16人、理事10人

事業名	学識経験者・評議員等による事業等の評価
実績	・ガールスカウトギャザリング全国大会：評議員2人

委員会名	組織・運営委員会
実績	年3回実施

委員会名	日本連盟重要事項検討委員会
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・理事が7月以降以下の分野に分かれて、日本連盟の今後の方針について検討した。 (教育・指導プログラム、財政計画基本方針、組織（常置委員会の在り方）、広報戦略)

事業名	事務局の強化
-----	--------

4. 社会との関係

事業名	ガールスカウトのPR
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブを含む広報一般を見直し、戦略的に活用開始した。

事業名	社会との連携
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・内閣府男女共同参画局・地方自治体とパープルライトアップで共働し、ガールスカウトの暴力防止啓発活動をアピールした。 ・ケア・インターナショナル、動く-動かす他、NGO・NPOと協働し、よりよい社会と未来のための活動をアピールした。

事業名	社会への提言
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・安倍晋三首相と面会し「少女たちが創る日本の未来」への宣言を提言した。 ・森まさこ内閣府特命担当大臣と面会し、STVキャンペーンの成果を報告した。

事業名	ガールスカウト推進議員連盟総会
期日	4月17日(水)
会場	衆議院第1議員会館 多目的ホール
人数	国会議員16人、代理出席22人、理事2人
備考	国会議員4人がガールスカウトギャザリング全国大会を見学した。

事業名	東日本大震災支援プロジェクト	
支援金	2013年度(平成25年度)に寄せられた支援金総額1,009,195円	
プログラム名		
「いきるちから」キャンプ	期日	8月9日(金)～8月11日(日)
	会場	国立花山青少年自然の家(宮城県)
	人数	228人(小学生139人、スタッフ89人)

ガールスカウト キャラバン	期日	2013年12月15日(日)	
	会場	福島市青少年会館(福島県)	
	人数	71人(児童42人、成人26人、派遣スタッフ3人)	
	期日	2014年3月23日(日)	
	会場	アイーナ(岩手県)	
KIZUNA DAY	人数	102人(児童71人、成人25人、派遣スタッフ6人)	
	期日	2014年3月11日(火)	
	会場	全国各地	
KIZUNA Line	実績	Facebook 累計 「613 いいね」(2013年8月2日開始)	
防災スキルアッ プ認定証	実績	115セット	
岩手県連盟・宮城県連盟・福島県連盟の県連盟への支援			
事業名			
「子どもたちの笑顔プロ ジェクト サマーキャン プ2013」	主催	福島県連盟	
	期日	9月14日(土)～9月16日(月・祝)	
	会場	国立磐梯青少年交流の家	
	人数	59人	
「ガールスカウトふれあ いの日」	主催	岩手県連盟	
	期日	5月12日(日)	
	会場	いわて県民情報センター「アイーナ」	
	人数	75人	
「スカウトのつどい&ガ ールスカウトキャラバン」	主催	福島県連盟	
	期日	12月15日(日)	
	会場	福島県青少年会館	
	人数	68人	
「ハーベストリポート& ふれあい広場」	主催	岩手県連盟	
	期日	2014年3月23日(日)	
	会場	いわて県民情報センター「アイーナ」	
	人数	96人	
全国大会参加助成	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・レンジャー・ヤングリーダーキャンプ (宮城県連盟 1人) ・ガールスカウトギャザリング全国大会 (岩手県連盟1人、宮城県連盟1人) 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・トレーナーセミナー (岩手県連盟 1人)
登録費補助	実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全額補助 (岩手県連盟 27人、宮城県連盟 62人、山形県連盟 2人、茨城県連盟 6人、千葉県連盟 9人) ・半額補助 (福島県連盟 292人)

事業名	フィリピン台風被害に対する緊急支援事業
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付件数 90件 ・寄付金額 1,718,784円 ・支援実施 2回 [12月20日(金)、2014年3月22日(土)～3月24日(月)] ・内容 学用品の支給

事業名	広報用資料作成
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・アニュアルレポート 2013 10,000部 ・2014年カレンダー 10,800部 ・2014年スケジュール帳 6,000部 ・リーフレットポケット 62,000部(初回+増刷分) ・ようこそおともだち 140,000部(増刷分)

事業名	インターネットを利用した情報発信
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ作成・運営 更新 314回 訪問者数 934,678人 ・メールマガジンの発行(隔週ならびに臨時発行) 24回(登録人数 2,032人) ・Facebook、LINE、TwitterなどのSNSの活用開始

事業名	ミセスウェストン祭
期日	8月3日(土)
会場	ミセスウェストンパーク(長野市戸隠)
参加人数	レンジャー18人、理事1人

委員会名	社会との関係委員会
実績	年2回開催(うち1回 Skype)

5. 会員

事業名	テンドーフット部門入会促進キャンペーン「ともだち増やそう作戦」
実績	44 都道府県連盟 610 カ団 1,560 回実施

事業名	表彰
実績	23 頁参照

委員会名	会員委員会
実績	年 2 回開催

6. 財政

事業名	ガールスカウト会館の管理運営
-----	----------------

事業名	戸隠ガールスカウトセンターの管理運営
-----	--------------------

事業名	各種制定品の見直し・魅力ある製品の開発
-----	---------------------

事業名	賛助会員トレフォイルの集い
期日	9 月 28 日 (土)
会場	第1部 金光教福岡教会 まみち会館 * 特別講演 講師：浅利妙峰氏 テーマ：こうじ屋ウーマンと「ガールスカウトのチカラ」 ～少女のチカラを伸ばすために私たちができること～ 第2部 博多料亭 稚加榮
参加人数	第1部 33 人 特別講演 71 人 第2部 33 人

事業名	戸隠ガールスカウトセンター春期・秋期利用
期日	春期：4 月 27 日 (土) ～7 月 15 日 (月・祝) 秋期：9 月 1 日 (日) ～11 月 5 日 (火)
会場	戸隠ガールスカウトセンター
参加人数	春期：宿泊利用 232 人 日帰り利用 35 人 秋期：宿泊利用 93 人 日帰り利用 121 人

委員会名	財政委員会
実績	年 3 回開催

事業名	「団・連盟のパートナーシップ拡充と維持・資金調達のためのヒント集」第3版検討
-----	--

7. 目的を達成するために必要なその他の事業

事業名	「日本のガールスカウト教育を考える会」による調査
-----	--------------------------

事業名	オンラインプログラムの実施（STV バッジプログラム・「安全で楽しいキャンプのために」指導者用 WEB 資料（試行版））
-----	--

会議名	第 85 回定時総会
期日	5 月 25 日（土）
会場	ガールスカウト会館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 号議案 平成 24 年度事業報告（案）について ・ 第 2 号議案 平成 24 年度決算（案）について ・ 第 3 号議案 次期役員選任について

会議名	理事会
期日	年 6 回開催
会場	ガールスカウト会館
内容	・ 理事会議題一覧参照

会議名	監査
期日	5 月 11 日（土）
会場	ガールスカウト会館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 24 年度事業報告（案）について ・ 平成 24 年度決算（案）について

理事会議題一覧

開催日	主な内容
5 月 12 日（日）	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピースプロジェクト Greener×Greener について ・ 日本のガールスカウト教育を考える会第 1 回委員会報告及び協議事項 ・ 第 85 回定時総会について ・ 平成 24 年度事業報告（案）及び平成 24 年度決算報告（案）について ・ 第 85 回定時総会での会員数に関する表彰について ・ 感謝状の発行について ・ 給与規程、事務局規程の改定について ・ 正会員の一般社団法人設立に伴う定款の承認について

	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員について ・リーダーシップセミナーの開催時期について
5月26日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・代表理事の選定 ・業務執行理事の選定 ・副会長の選定 ・国際コミッショナーの選定 ・財務担当理事の選定 ・委員会・プロジェクトの担当について
7月21日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・都道府県連盟訪問事業について ・「ともだち増やそう作戦 第2弾」について ・100周年(2020年)第37回世界会議招へいについて ・ガールスカウト日本連盟の対外的な姿勢について(ネット等での制服の取り扱いについて) ・日本連盟の方針について(常置委員会の今後について、年長部門・教育プログラム開発についての検討、財政計画について、事務局改革について、広報戦略について)
10月20日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本連盟の方針について(教育・指導プログラム、財政計画基本方針について、組織検討(常置委員会の在り方)、広報戦略) ・2012～2014年目標と戦略の見直しについて(2012～2014年目標と戦略の見直しについて、ピースプロジェクト Greener×Greenerについて、その他のプロジェクトの見直し、2013年度トレーナーセミナー) ・2014年度事業計画(案)について ・2013年度連盟長会議・連盟長研修について ・オレブ賞について ・第35回世界会議について ・3Lプロジェクトについて ・2014・2015年度評議員につて(予告)
2014年 1月19日(日)	<ul style="list-style-type: none"> ・2014・2015年度評議員について ・2013年度(公社)ガールスカウト日本連盟表彰「功労章」について ・(公社)日本キャンプ協会理事の推薦について ・名誉会員就任依頼について ・2013年度補正予算(案)について ・2014年度都道府県連盟訪問事業の訪問先について ・ピースプロジェクト Greener×Greenerについて ・2020年に向けての日本連盟の中長期計画について(2020年に向けての日本連盟の方針について、広報戦略、教育プログラム・指導者トレーニング) ・2014年度事業計画・予算(案)について

2014年 3月9日（日）	<ul style="list-style-type: none"> ・2014・2015年度評議員について ・世界連盟事務局発信 WAGGGS DOVE Project “Free Being Me” (バッジカリキュラム) の受諾について ・2013年度補正予算について ・2014年度事業計画・予算について ・公益社団法人ガールスカウト日本連盟の諸規程の改定について ・第86回定時総会について ・2013年度（公社）ガールスカウト日本連盟表彰について
電磁的方法による理事会の承認事項	
7月31日（水）	広報アドバイザーの再業務委託契約について
12月13日（金）	フィリピン台風被害に対する緊急復興支援事業実施について
12月18日（水）	트레이ナー認定審査員について

2013年度（平成25年度）民間助成金

助成団体	事業名
（一社）霞会館	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回 AP 地域会議 ・海外研修県連盟派遣事業補助 ・海外研修本部派遣
（一社）尚友倶楽部	・第11回 AP 地域会議
（独）国立青少年教育振興機構	・Stop the Violence 指導者研修会（子どもゆめ基金）
（財）日本宝くじ協会	・冊子：「女の子はもっと伸びる－未来を担う少女たちに今、必要なチカラと環境」作成
ガールガイド・ガールスカウト世界連盟	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回 AP 地域会議 ・ガールスカウト Stop the Violence キャンペーン (3Lプロジェクト) ・ミャンマー連盟への指導者派遣（AP 友の会 30%ベネフィット）

2013年度（平成25年度）世界連盟への寄付

基金名	金額	備考
国際友愛基金	1,556,313 円	
相互援助計画のための基金	293,623 円	支援プロジェクト未定
サンガム指定寄付金	250,922 円	

2013 年度 日本連盟表彰

功 勞 章	桐 章	13 人
	菊 章	19 人
	梅 章	12 人

永統奉仕章	60 年	4 人
	50 年	12 人
	40 年	91 人
	30 年	198 人
	25 年	243 人
	20 年	329 人
	10 年	473 人

団 永 統 章	60 年	9 力団
	50 年	22 力団
	40 年	27 力団
	30 年	24 力団
	25 年	7 力団
	20 年	7 力団
	10 年	5 力団

連盟永統章	50 年	2 連盟
	25 年	1 連盟